

2010年
サイトを
リニューアル
しました!

探したい情報が
見つけやすく、
コメント機能を使って、
CRNの活動に
参加しやすくなりました!

<http://www.crn.or.jp/>

CRN 所長・東京大学名誉教授

小林 登



■リニューアルのごあいさつ

CRNの設立は1996年、今年で15年目になりました。この間、みなさまの御指導と御支援のお蔭で、日・英・中の三つの言語によるサイトが活発に運営され、わが国ばかりでなく、国外でも広く利用されています。

しかしながら、1996年当時から見ると、ウェブサイトの在り方も大きく変わり、読者の方々にとって、より利用しやすいようにする必要があると考えるようになりました。CRNでは検討を重ね、この度第3回目のリニューアルオープンを迎えることとなりました。

この新しいサイトで、「日本子ども学会」、「日本赤ちゃん学会」、さらにはアジア近隣の国々の研究者・実践家と共に勉強する「東アジア子ども学交流プログラム」とも連携を取りながら、CRNの更なる発展に向け、一同努力する所存です。みなさまの変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

■CRN事務局一同より

CRNでは毎年、読者の方々にアンケートを実施し、ご意見をお寄せいただいています。みなさまにいただいたご意見を参考に、より見やすく読みやすいサイトを目指してサイトをリニューアルしました。

新しくなったCRNでは、検索機能やコメント機能、記事のサマリーやキーワードの追加など、さまざまな点で改善を加え、必要な情報にぐっとアクセスしやすくなりました。

多くの方にご満足いただけるサイトを目指して、CRN事務局スタッフ一同更に努力していきます。是非新しいCRNにアクセスして、ご感想、ご意見をお寄せください。

今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願いたします。



CRN

検索

CRN日本語サイト リニューアルオープン 【CRNサイト、ここが変わった!】



CRNサイトのデザイン・レイアウトが新しくなりました!
ご利用の皆様にとって、より満足度の高いCRNを作ることをめざし、今後も努力していきます。ご支援のほど、宜しくお願いします。

Welcome to **CHILD RESEARCH NET**
We are a non-profit organization devoted to thinking with and about young people in Japan.
子どもは未来である
子ども学 始め

● 中文 ● English

TOP 研究室 論文・レポート 調査データ 所長ブログ イベント リンク CRNについて

Child Research Netはインターネットによる「子ども学」(Child Science)の研究所です。従来の学問分野を越えて、育児・保育・教育の研究者、実践者、子どもに関わるすべての方で話し合い、子ども問題 (Child Issues) 解決の場にしましょう。 [→CRNについて](#)

更新履歴 What's New

- 2010.10.15 [【9月15日】CRNサイトリニューアルしました!](#) [New](#)
- 2010.9.22 [【脳と教育】10. 学童期の子どもの学習意欲、エラー検出能力と学業成績](#) [New](#)
- 2010.9.22 [【世界の幼児教育】カナダ・オンタリオ州における子どもの幼少期](#) [New](#)
- 2010.9.22 [【子育ての脳科学】58.セロトニンと学習集中力:海馬のθリズム](#) [New](#)
- 2010.9.22 [【教育学者の父親子育て日記】第10回「規範的な親への道険し?](#) [New](#)
- 2010.9.16 [【甲南女子大学 国際子ども研究センター】「子ども学」講演会の情報を更新しました。](#)
- 2010.9.10 [【所長ブログ】【9月】小樽で開かれた日本児童学会に出席して](#)
- 2010.9.10 [【子ども学】「子どもたちの新しい遊び環境」\(1\)](#)

[過去一覧へ](#)

研究室 Laboratory

新着記事から探す

- [カナダ・オンタリオ州における子どもの幼少期](#) [New](#) (2010.9.22)
- [シンガポールの出産・子育て支援政策](#) (2010.7.23)
- [マレーシアの幼児教育 - 日本の幼児教育との比較のために -](#) (2010.6.25)
- [日本語「Listening to Mothers」調査の準備研究-日本の周産期ケアを見直してみませんか? \(2010.6.03\)](#)
- [ベトナムにおける幼児教育の動向-「教育の社会化」と格差問題への対応 \(2010.5.28\)](#)
- [アメリカのドゥーラに10の質問 \(2010.5.14\)](#)
- [韓国における幼児の教育・保育の場: 子どもが教育と保育の両方を受けられる場とは? \(2010.4.23\)](#)
- [ハンガリーの早期社団語教育 \(2010.2.26\)](#)

キーワードから探す

検索数が多いキーワード別の記事を表示します。
幼児教育 ソーシャルスキルトレーニング メディア ドゥーラ コミュニケーション

[研究室的トップへ](#)

論文・レポート Essay · Report

新着記事から探す

- [10. 学童期の子どもの学習意欲、エラー検出能力と学業成績](#) [New](#) (2010.9.22)
- [58. セロトニンと学習集中力:海馬のθリズム](#) [New](#) (2010.9.22)
- [【教育学者の父親子育て日記】第10回「規範的な親への道険し?](#) [New](#) (2010.9.22)

1

2

4

3

CHILD RESEARCH NET 子どもは未来
子ども学 始め

● 中文 ● English

TOP 研究室 論文・レポート 調査データ 所長ブログ イベント リンク CRNについて

所長ブログ Chief BLOG

所長ブログではCRN所長小森登の日々の活動の様子や、子どもをめぐる話題、雑感などを発信しています。

CRN新しいスタートを祝って

2010年9月15日掲載

先週9月15日(水)に、CRN日本語サイトを無事リニューアルオープンしました!

制作にかかわったスタッフ一同に、空をねがって、お祝いの上げ音を聞きました。

思い通りに、CRN日本語版の制作スタッフが今回のデザイン、制作している方がお祝いを! みなさんおめでとうメールや電話でやりとりが盛況に行われていた。業界関係のない人も絡むることばかりです。こんな時代になったんですね。

CRNサイト改訂のお話ですが、今年度はじめのことで、それから数か月をかけて、調査したり、ユーザーの声を聞いて、分析や検討を重ね、歴史的な記事移行(100記事あり!)を経て、ようやくこの日に達しました。

所長小森登からはCRNのミッション、設立当初の思いなどを語っており、インターネットの活用によって、21世紀を子どものためにしていくことを語っていました。

CRNは世界の子どもたちの取り巻く社会問題を解決するため、異なる分野の専門家、子育て中の親と情報共有をし、議論の場を提供しています。

リニューアルしたCRNをアプセしていただき、そして、やっではない、改善してほしいイベントなど、ご意見、ご感想をお願いします。

コメントやトラックバックも宜しくお願いします。

イベント

子どもに関するイベントや講演会を紹介します。

- 第7回子ども学 会議学術集会
- ベネッセ次世代育成研究所・周年記念シンポジウム

[イベントトップへ](#)

リンク・ご意見・投稿

- リンク一覧
- ご意見、ご感想はこちら
- CRNと相互リンクしませんか?
- 論文・レポートを投稿しませんか?

メルマガ登録

メールマガジン「CRN通信」を購読しませんか? 子どもにまつわる耳よりな情報をお届けします。

[特典・登録はこちら](#)

所長ブログ新着記事

- 【9月15日】CRNサイトリニューアルしました!
- 【9月】小樽で開かれた日本児童学会に出席して
- 【9月】小樽で開かれた日本児童学会に出席して

リンク・ご意見・投稿

- リンク一覧
- ご意見、ご感想はこちら
- CRNと相互リンクしませんか?
- 論文・レポートを投稿しませんか?

メルマガ登録

メールマガジン「CRN通信」を購読しませんか? 子どもにまつわる耳よりな情報をお届けします。

[特典・登録はこちら](#)

所長の幼児教育レポート

所長の幼児教育に関する最新記事

CRN刊行物

http://www.crn.or.jp/

1 探したい情報にアクセスしやすくなりました!

- ・探したい記事はこちらで検索してください。
- ・記事が見つからないときは、サイトマップで探してください。



2 興味のある分野の更新情報をお届けします。



- ・読みたい記事のカテゴリごとにRSS配信しています。興味のある分野のみでの登録ができます。

◇サイト全体の最新記事を読みやすい方

→TOPページの「更新履歴」部分のRSSを購読

◇興味のあるコーナーが決まっている方

→「研究室」・「論文・レポート」・「調査データ」・「所長ブログ」からRSSを購読

3 検索キーワードの多い記事はこちらをクリックしてください。

4 CRNの活動がより身近に感じられるようになりました!

所長ブログ新設! CRN所長小林登の日々の活動、CRNの動きなど、タイムリーに最新の情報をお届けします。



5 コメントやトラッキング機能を追加しました!

コメント機能がつかえました。記事についてのご意見、ご感想を是非投稿してください。一緒にサイトを作っていきましょう。また子どもに関するブログを開設されている方は是非トラッキングしてください。

※なお、サイトの品質を保つため、コメントやトラッキングはCRN事務局の確認を経て公開されます。公開されるまで、時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。

! 長文記事が読みやすくなりました!

- ・記事にサマリー、キーワードがつき、内容が一目瞭然。興味のある記事のピックアップが容易になり、該当記事をじっくり読めるようになりました。
- ・文字フォントが大きくなり、サイズ選択も可能です。目にやさしく、読みやすくなりました。

(他言語サイトの紹介)

CRNサイトは、日本語版のほかに、英語版と中国語版もあります。

子どもに関する情報を多言語で発信し、情報収集を行っています。

英語版

CRN英語版サイトは、子どもに関する研究者・現場の教師・子育て中の方々を対象に、日本、中国、その他アジアの国々を中心に世界各地の幼児教育、政策、育児事情など、子どもに関する幅広い情報を英語で収集・発信する役割を担っています。国内外の研究者やCRNアドバイザーボードメンバー（育児・保育・教育の専門家）からのレポート、シンポジウムや講演会の記録、最新のデータなど、質の高い情報がそろっています。月に1度発行するメルマガで、CRN活動情報をタイムリーにお届けしています。



中国語版

高度な経済成長、一人っ子政策などの影響で近年中国では、子どもへの教育熱が非常に高まっています。CRNの中国語版は、そのような背景の中、2005年に誕生しました。

子どもに関する研究者、教師、子育てに関わる方々が、学問の壁を越え、国境を越え、CRNを介して子どもに関する問題を検討し、解決の糸口を探る活動をしています。現在では、毎年「東アジア子ども学交流プログラム」を通じて、日中の学者の相互訪問、シンポジウムの開催などの活動も行っており、ネット上のディスカッションに加えて、実際の交流も推し進めています。

最新情報は毎月のメルマガでお届けしています。登録はこちらへ→



刊行物の紹介

東アジア「子ども学」交流プログラム報告書 (VOL.2、VOL.3)

2007年から発足したこのプログラムは2010年で3年目を迎えます。2008年度、2009年度の活動を分かりやすくまとめた報告書が発行されていますので、どうぞご利用ください。



予告

第6回東アジア子ども学交流プログラム11月北京にて開催予定

大会テーマ ● 幼小連携－教育の公平性と質の関係の視点から－

講演者 ● **日本から** 小林登(東京大学名誉教授、CRN所長)、榊原洋一(お茶の水女子大学教授)、秋田喜代美(東京大学教授)

● **中国から** 朱家雄(華東師範大学教授)、馮曉霞(北京師範大学教授)、張燕(北京師範大学教授)、梁衛蘭(北京大学第一医院主任医師)、王練(中華女子学院教授)、その他。

なお、第6回の詳細は『東アジア子ども学交流プログラム報告書(VOL.3)』(2011年3月発刊予定)にて報告します。どうぞご期待ください。

CRNのあゆみ

- | | |
|---|--|
| <p>1996</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語・英語サイトオープン ・シンポジウム「マルチメディア社会の子どもたち」 <p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「中高生のデジタルな友達づくり」 ・ジェーン・グドール博士講演会「チンパンジーと自然のお話」 ・ジェイ・ベルスキー博士講演会「子どもの発達と家族研究」 <p>1998</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際シンポジウム「メディアは子どもをどう育てるのか？」 ・ジェーン・グドール博士講演会「チンパンジーと自然のお話」 ・CRN ウェブサイト「WEBデザインアワード」銀賞受賞 <p>1999</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開座談会「学級崩壊はしついでにいくとめられるのか？」 ・プレイショッ「PLAYFUL」 <p>2000</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開座談会「『学校』と『家庭』を結ぶもの」 ・『チャイルド・リサーチ・ネット』発刊 ・プレイショッ「Feel the Media」 ・国際シンポジウム「21世紀の子育てを考える」 ・『子育てのスタイルは発達にどう影響するのか』発刊 <p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイショッ ・「ふゆものがたり～プレイフルストーリーをつくるう」など ・『CRN YEAR BOOK 2001』発刊 ・研究拠点「ながやまチーきち」開設(～2002年) ・『新しい学びと遊びの実験研究「ながやまチーきち」』発刊 ・音のワークショップ(～2003年) <p>2002</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CRN 実践保育研修会 ・「保育の質を考える－心とからだを育む視点から」 ・『CRN YEAR BOOK 2002』発刊 ・プレイショッ「カラフル王国であそぼう」など ・「子ども学研究会」発足(～2003年) ・メディアワークショップ(主催:CRN子どもとメディア研究室) ・チーきち放送局をつくるう <p>2003</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『CRN YEAR BOOK 2003』発刊 ・『子ども学研究会Report2002』発刊 ・「日本子ども学会」設立 ・「こがねいメディアキッズ」(～2004年) <p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『CRN YEAR BOOK 2004』発刊 ・「第1回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) ・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイスタート ・中国の子ども研究機関を訪問(中国 北京) <p>2005</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語ウェブサイトオープン ・『CRN YEAR BOOK 2005』発刊 | <p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) ・英語ウェブサイトリニューアルオープン ・中国宋慶齡基金会の招聘を受け小林所長が講演(中国 上海) ・『CRN YEAR BOOK 2006』発刊 ・子どもの健康に関する学会にて「食育」をテーマに分科会を開催(中国 長春) ・「第3回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) ・中国政府主催のシンポジウムにて小林所長が講演(中国 上海) <p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『CRN 設立10周年記念号』発刊 ・CRN設立10周年記念国際シンポジウム ・『『子ども学』からみた少子化社会』 ・「第4回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) ・第1回 東アジア子ども学交流プログラム開幕式(中国 上海) ・第1回 東アジア子ども学交流プログラム・幼児教育展覧会開催(中国 長沙) <p>2008</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語サイトリニューアルオープン ・第2回 東アジア子ども学交流プログラム開催(日本 東京) ・『CRNニュースレターVOL1』創刊 ※日英中の3言語対応 ・「第5回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) ・第3回 東アジア子ども学交流プログラム・グッドトイ展示会開催(中国 杭州) <p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『CRNニュースレターVOL2』発刊 ※日英中の3言語対応 ・『東アジア子ども学交流活動報告書VOL1』発刊 ※日英中の3言語対応 ・第4回 東アジア子ども学交流プログラム開催(日本 東京) ・第5回 東アジア子ども学交流プログラム・グッドトイ展示会開催(中国 上海) ・「第6回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) <p>2010</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『CRNニュースレターVOL3』発刊 ※日英中韓の4言語対応 ・『東アジア子ども学交流活動報告書VOL2』発刊 ※日英中の3言語対応 ・所長小林登が韓国晋州教育大学にて招へい講演 ・環太平洋早期教育研究会(PECERA)主催の第11回学術集会に出席、所長小林登講演 ・日本語サイトリニューアルオープン ・「第7回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会) |
|---|--|



【発行日】2010年10月30日
 【発行】チャイルド・リサーチ・ネット(CRN) 〒101-8685 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビル(株)ベネッセコーポレーション内
 【編集人】後藤憲子
 【編集スタッフ】劉愛萍、横井理絵、山本和桂子、桜井玲子、清水かおり
 【デザイン】森一典デザイン事務所